

平成31年度
さいたま市立大宮小学校 学校経営方針

創立146周年



【校訓】
希 望

【校風】
楽しい学校

【学校の木】
あおぎり（青桐）

さいたま市教育委員会

「PLAN THE NEXT 3つのGで日本一の教育都市へ」

☆ 3つのGとは

- ・ G r i t やる抜く力で真の学力を育成する
- ・ G l o b a l 国際社会で活躍できる力を育成する
- ・ G r o w t h 一人ひとりの成長を支え、生涯学び続ける力を育成する

I 学校教育目標

あかるく (G l o b a l 豊かな心)

かしこく (G r i t G r o w t h 自ら学ぶ姿勢・確かな学力)

たくましく (G r i t G l o b a l G r o w t h たくましく生きるための基盤)

II 目指す学校像

(1) 児童が生き生きと活動する学校

○自分から進んで学び、活動する子の育成

- ・安心感のある学級づくりに努め、何事にも本気でとりくむ児童を育てる。
- ・アクティブラーニングを意識した授業を実施するとともに、好奇心を育てる教育活動を展開し、澁刺と学校生活を送る児童を育てる。
- ・自ら考え、自分の言葉で正しく表現できる児童を育てる。
- ・学び方を身につけ、学ぶ喜びを知り、進んで物事に取り組む児童を育てる。

○優しい心を持ち、正義を愛し、素直に感動できる子の育成

- ・相手を思いやる気持ちを持って生活できる児童を育てる。
- ・よいものや美しいもの、正しいことに共感し、それらを追い求めようとする豊かな情操を持つ児童を育てる。
- ・命の尊さを知り、命を大切に作る心を持つ児童を育てる。

○進んで心身を鍛える子の育成

- ・進んで運動に取り組み、体を動かすことを厭わない児童を育てる。
- ・失敗に負けず、ねばり強くがんばろうとする強い意志を持つ児童を育てる。
- ・食生活を含め、規則正しい生活など自らの健康と安全に留意できる児童を育てる。

○互いにかかわり合い、他者を尊重できる子の育成

- ・あいさつや返事がしっかりでき、他者との基本的なかかわり方ができる児童を育てる。
- ・友だちと協力し、物事を成し遂げることができる児童を育てる。
- ・いじめをしない、させない、許さない児童を育てる。

(2) 地域とともに歩む学校

○地域、保護者の信頼にこたえる学校づくり

- ・充実した教育活動を日々実践する。

- ・児童が楽しく意欲的に学ぶことができる、整った学習環境を整備する。
- ・「おはよう活動（駅前清掃活動）」や「資源回収活動」などのボランティア活動を通して、地域に貢献する心の育成に努める。
- ・地域、保護者からの意見等を学校運営に取り入れる姿勢をもち続ける。
- ・地域関連行事等に積極的に協力する。
- ・関係諸団体等と連携し、スクールサポートネットワークの充実を図り、行事等での交流を一層推進する。
- ・地域、保護者の学校に対する思いを教職員も共有する。

○地域の教育力等を活用した学校づくり

- ・PTAや防犯ボランティア、各自治会の見守り活動等と連携した学校安全ネットワーク体制の一層の充実を図る。
- ・学習ボランティアやゲスト・ティーチャーなど、地域等の指導者を招いた授業や活動を積極的に導入して、児童の学習活動の広がりを図る。
- ・放課後チャレンジスクール、土曜チャレンジスクールにおける、外部講師による講座の開催等、多くの方が児童にかかわる活動を一層推進する。
- ・大宮東中学校区 小・中一貫教育アクションプランを推進する。

Ⅲ プラス実現すべき学校の姿

○ 安全安心な学校

施設設備の定期的な複数の目による確実な実施。
不具合箇所への迅速な対応。
不審者対応、児童への危機対応等、マニュアルの作成、周知、訓練の実施。
学校安心メール等による情報発信。
来客や電話などの適切な対応等、接遇の改善。

○ 事故ゼロの学校

児童、保護者、地域の信頼を裏切らないため、教職員事故防止の徹底。
児童の事故防止のための安全指導の継続。
学校安全ネットワーク、SSN（スクールサポートネットワーク）等を活用した、見守り活動の充実。

○ 開かれた学校

学校評価の結果を生かした、方策の検討と実行。
積極的な情報発信と学校公開。

○ 元気な教職員がいる学校

最低週1回の定時退勤。
必要最低限の会議の開催。
課題に対しての組織的な対応。
笑顔のある職員室。

本年度特に力を入れて取り組む事案

知：研究発表会向けの研究の深化。

徳：各学年の重点内容をふまえた道徳の授業の充実。
(学校公開日や授業参観日での授業公開の実施)

体：体力アップに向けての取組の充実

コミュニケーション：登下校時のあいさつができる児童の育成への取り組み

《その他》：不登校ゼロの継続。コミュニティスクール実施に向けての準備